

支部例会成績

札幌 支部長 山本隆晟

▽12月例会21日 森哲審査員選考
 ①今明美②廣岡尚③髪田祥健④寺地栄⑤萩田貞子⑥難波江⑦砂澤一彦⑧上口建作⑨水嶋和子⑩山端鉄朗
 ▽1月例会18日 阿部昭夫審査員選考
 ①今明美②澤田満起③大野カヨ子④髪田祥健⑤山田有人⑥原禎子⑦山本隆晟⑧武田礼子⑨坂本幸夫⑩山端鉄朗
 ▽3月例会16日 内山明子審査員選考
 ①村上和子②大久保真③髪田祥健④廣岡尚⑤今明美⑥藤原富士夫⑦砂澤一彦⑧萩田貞子⑨裏征子⑩難波江

旭川 支部長 馬場和美

▽1月例会17日 田村健太郎審査員選考
 (一席)池田政人(特選)田中昭一 浦島寛 小森道夫(入選)池田政人 三本芳男 宮崎章子 早坂藤男 吉田祥子 浦島寛
 ▽2月例会7日 田村健太郎審査員選考
 (一席)田中昭一(特選)細川貞子 白鳥敏昭 佐藤敏雅 小森道夫(入選)白鳥敏昭 池田政人 細川貞子 阿部三重子 宮崎章子
 ▽3月例会14日 福田光男審査員選考
 (一席)田中昭一(特選)伊藤勝利 白鳥敏昭 早坂藤男 吉田祥子(入選)小山満 白鳥敏昭 阿部三重子 池田政人 宮崎章子

恵庭 支部長 西澤 實

▽12月例会1日 審査互選
 ①目黒健②五東建夫③佐野ミヨ④田中康夫⑤吉村剛⑦村井正人⑦西澤實⑧吉村登美子
 ▽2月例会2日 審査互選
 ①佐野ミヨ①田中康夫③吉村登美子⑤五東建夫⑥吉村剛⑨小板橋勝⑨日黒健⑨塩田直⑨加藤憲秋
 ▽3月例会2日 審査互選
 ②佐野ミヨ③加藤憲秋③吉村剛⑥村井正人⑦吉村登美子⑨五東建夫

岩見沢 支部長 尾崎和男

▽11月例会14日 審査互選
 ①④友広茂夫②⑤木村克巳③森尚敏⑤広田広二
 ▽年度審査11月14日 中野潤子審査員選考
 ①⑤友広茂夫②ビククリした②⑧田中克彦③木村克巳④広田広二⑥山崎正義⑦森尚敏⑨植木宣章⑩中路薫
 ▽1月例会16日 審査互選
 ①⑤広田広二②③田中克彦④木村克巳⑥友広茂夫



年度審査 1位 「ビククリした」(カラー) 友広茂夫
 ▽1月例会(16日) 審査互選
 ①⑤広田広二②③田中克彦④木村克巳⑥友広茂夫

釧路 支部長 浅海信一

▽12月例会13日 高橋和幸審査員選考
 ①⑦水谷博之②北野宏幸 河畔の船ビル③⑩岡本雄毅④長尾芳文⑤谷村研⑥北橋善一郎⑧⑨浅海信一
 ▽1月例会(24日) 工藤二男審査員選考
 ①⑥長尾芳文②⑤岡本雄毅③水谷博之④北橋善一郎⑦越田太郎⑧大里清志⑨北野宏幸⑩蝦名昇



12月例会 2位 「河畔の船ビル」(カラー) 北野宏幸
 ▽1月例会(24日) 工藤二男審査員選考
 ①⑥長尾芳文②⑤岡本雄毅③水谷博之④北橋善一郎⑦越田太郎⑧大里清志⑨北野宏幸⑩蝦名昇

小樽 支部長 川原静雄

▽1月例会9日 滝野那保審査員選考
 ①小泉和子 就活?美人②高橋省三③成沢克朗④鹿戸芳之⑤貝沼正雄⑥嵯峨秋雄⑦松居秀昭⑧堀野正憲



1月例会 1位 「就活?美人」(カラー) 小泉和子

▽3月例会6日 本郷正利審査員選考
 ①鹿戸芳之「遡る運水」②嵯峨秋雄③貝沼正雄④小泉和子⑤高橋省三⑥成沢克朗⑦松居秀昭⑧堀野正憲



3月例会 1位 「遡る運水」(カラー) 鹿戸芳之

余市 支部長 金子勝彦

▽12月例会16日 審査互選
 ①⑤丹野光雄②⑥谷橋準一③③美濃英則③谷橋

誠子③藤田聡子③④石岡誠二⑨金子勝彦
 ▽1月例会14日 審査互選
 ①⑧石岡誠二②⑤谷橋準一③⑨近藤健一④谷橋誠子⑥⑦丹野光雄⑨青木延広⑩美濃英則⑪藤田聡子
 ▽2月例会3日 審査互選
 ①③石岡誠二③⑩美濃英則⑤⑤丹野光雄⑤近藤健一⑦⑧谷橋準一⑧⑨谷橋誠子
 ▽3月例会17日 審査互選
 ①④美濃英則②⑤谷橋誠子③⑥丹野光雄⑤⑦谷橋準一⑥⑦石岡誠二⑦近藤健一⑧⑧戸弘利

室蘭 支部長 佐々木 昇

▽1月例会25日 中西勉審査員選考
 ①工藤司郎 ②大坪恵子 ③山田しげき ③田村謙次 ③三浦和希 ③森美津雄 (入選) 山田しげき 田村謙次 佐藤俊晴 成田正利
 ▽3月例会22日 浪岡和雄審査員選考
 ①成田正利 ②森美津雄 ②三浦和希 ③田村謙次 ③工藤司郎 ③佐藤俊晴 (入選) 田村謙次 伊東克巳 森美津雄 三浦和希

留萌 支部長 崎出恒夫

▽1月例会20日 審査互選
 ①④畑忠幸②川上正巳③澤岡政江
 ▽3月例会10日 審査互選
 ①⑤澤岡政江②⑤畑忠幸③④川上正巳

栗山 支部長 黒田幸則

▽1月例会16日 山岸幸雄審査員選考
 ①②中島武士②③齋藤優子③黒田幸則(入選) 齋藤優子 中島武士 黒田幸則 高橋勝雄

編集後記 写真道展に入賞、入選された皆様おめでとうございます。
 次号は8月を予定しています。
 森田

道写協

北海道写真協会

事務局■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
 011-210-5735(直通)011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyou.org/>

第121号

応募点数5600点に迫る

第60回記念写真道展審査会報告

第60回記念展

第60回写真道展、第31回学生写真道展の審査会が三月二日・三日の両日北海道新聞本社二階会議室においておこなわれ、今回60回記念にあたり、写真家の水越武先生を審査員委員長として迎え、道展審査員(新任)を含め26名で進められました。今回、学生写真道展への応募者が379名、作品数1137点、本展への応募者数、道写協会員200名、一般279名作品数5598点と道内最大のアマチュア写真公募展としては前年を上回りより良い作品数が残せたと思います。一日目、道内各地より北海道写真協会の審査員が集まり、審査事項等の確認、ミーティング行われた後、緊迫した雰囲気の中、学生写真道展の審査より始まり、第二次審査1137点、第三次審査で60点が遺り、審査委員長美濃英則氏により上位9点が残され、北海道知事賞

に布施晴香さん(旭川商業高校)の「水の銀河」が選ばれました。



中央・水越武審査委員長

整然と進化した厳正な審査

午後より本展の第一部(自由)第二部(観光・産業 第三部(ネイチャーフォト)二次・三次審査が行われ、類似作品、二重応募、ダブル

りのチェック等の作業を終り35%に絞りました。四時頃に会友奨励賞の審査を写真協会副会長の武藤省吾奨励賞選考委員長を中心に、10名の奨励賞選考委員で行われ、57点の中より会友奨励賞には上田正洋さん(札幌)の「輝く飛沫」に決まりました。準奨励賞には伊藤三郎さん(遠軽)、竹岡孝二さん(紋別)の作品が選考され一日目の審査が順調に終わりました。

二日目、審査委員長に水越武先生を迎え前日より今後の審査方法について、水越先生より写真道展の節目に当たるので確りと審査を行いたいとのメッセージがあり進めていきました。確認を終え通過作品を四次へ二部134点、一部56点、三部89点が決まり、ダブリの調整を行い五次六次審査に入り、入選作品が決まり上位作品では水越先生より題名は他人に伝わる様重要としてきました。全審査員の見守る中、一部二部三部の大賞がはこばれ、沈黙の中先生より第一部の中村和子さんの「珍客」が第60回記念大賞に決定、緊張した審査委員長の表情が和らぎ審査員一同から拍手がわき大きな節目のアマチュアカメラマンの文化、芸術の発展のための第60回記念が終わりました。二日間に渡り膨大な作品を慎重に審査を頂き過密な進行にも関わらず協力賜りました全審査員関係各位様に心より感謝申し上げます。道内最大の公募展として益々飛躍していきます様に事務局一同心より皆様への素晴らしい感性豊かな作品をお待ちしております。

実行委員長・中野芳生(記)

心に残る旅がある
 心の印画紙に焼き付けたい旅があります。
 旅の出会いにはフォトジェニック。
 カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは
TEL(011)241-6401
 ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間
 月～金曜日 9:30～18:00
 土曜日 9:30～12:00
 日曜日・祝日は休業

旅行企画・実施
 安心と信頼の **道新観光**
 〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

おめでとうございます！——第60回記念写真道展



写真道展大賞
オホーツク支部
中村 和子

まさに青天のへきれき

このたびは第60回という記念の年に大きな賞をいただき、とても嬉しく名誉なことと思う反面、私にとってはまさに青天のへきれき

で、只々驚き戸惑っています。

この作品は、テレビか動物園でしか見るこ
とができないヨーロッパの国がある日、
冒険の旅に出て、7月末から10月末までコム
ケ湖に羽を休めた時のものです。

飛来して10日あまり過ぎた頃、アオサギ達
に「よろしく」の挨拶をしているように見え
ました。まさに私にとってもアオサギ達に
とつても「珍客」でした。

写真を撮り始めたきっかけは、登山の山行記録
のつもりで、夫からカメラを借りて写しだし
たのが今日に至っております。これからも好
きなものを、ステキだなんて思うものにシャッ
ターを切れたら良いなと思っています。



第60回記念写真道展大賞 「珍客」



夫婦揃って入選
苫小牧支部
壬生 賢 哉
壬生 由美子

5回目で喜びもひとしお

第53回写真道展に夫婦揃って入選してか
ら、4年連続で夫婦一緒に入選し、夫婦仲の
良さを見せてきました。しかし、その後の2
年間は夫婦一緒とはいかず、残念に思ってい
ました。このたび、第60回写真道展に夫婦
揃って5回目の入選の栄誉を勝ちとり、喜び



3部門入賞入選
旭川支部
池田 政人

これからも楽しみながら写真を撮る

「1点でもいいから入選しないかなア」と内
心思いながら発表を首を長くして待っていた
ところ、目を疑うような通知を頂き、ビック
リして何度も通知を見直しました。

写真を撮り始めたきっかけは、道新文化セン
ターで「写真教室の講座」があるのを家内が
新聞で見つけて受講を勧められたのがきっかけ

はひとしおです。

老後の趣味にと写真を撮り始め、道新の写真
教室に通うようになりました。写真を撮ること
により世界が広がることも、物を見る目
が違ってきました。二人共、以前から旅行、映
画、美術館等に行くのが好きでしたが、写真
をするようになって、休日には二人でカメラ
を持って頻りに外に出かけるようになり、よ
り積極性がでるとともに、感性が磨かれてい
るような気がします。夫婦の会話も写真のこ
とで盛り上がり、夫婦仲も良くなったような
気がします。これからも感性を磨き、写真を
通じて心豊かな生活を送っていきたくと思っ
ています。

▲支部探訪—奈井江 支部長 田澤 康史

■奈井江支部創設

道写協奈井江支部は昭和58年に和泉、長
尾、田澤の3名で創設し、本年度30年目を迎
えました。

現在の会員は男性6名ですが、4名は町外
からの参加となっております。他支部も同様と
思いますが、当支部会員も平均年齢が70歳と
高齢ではありますが、写真にかける情熱は熱
く、作品を語る口調は青年の如し、当時と何
も変わってはいません。

■独学ゆえ悪戦苦闘の連続

創設当初から空知近郊や札幌、富良野、旭
川の撮影会には積極的に参加し、入賞入選の
一角を担えるようになりました。しかし肝心の
写真道展には入選すら手の届かない時期もあ
りました。そこで当時芦別に在住していた杉
森審査会員、更に(故)及川審査会員の指導を



例会風景

▲支部探訪—奈井江 支部長 田澤 康史

受ける中で力をつけ、入賞入選者に名を連ね
ることとなり、和泉審査会員、長尾会友、田澤
会友を輩出し、歩みを進めてきています。

現在は加賀谷審査会員を招聘し、更なる写
真力を養うべく努力を重ねています。ご指導を
いただいた審査会員には厚くお礼を申し上げ
ます。



支部撮影旅行

■自家プリントで好成績

以前から撮影後は近所の写真店にフィルム
現像やプリントを依頼していたものですが、経
費と色彩面などから満足とはいえず、当然の
流れで各自暗室にて全ての工程を行うよう
になりました。その結果、作品の質的向上に結
びつき、写真道展や他のコンテストにおいて好
成績を残すようになってきました。そんな過程
を経た現在はデジタルとなり、カメラとパソ
コンの操作や作品作りに日夜苦勞をしながら
も、より高い目標に向けて写真技術向上を目
指しています。

■楽しい写真ライフ

当支部の年会費は6千円ですが、写真道展
作品集の半額助成や、写真道展に入賞入選者
が出たならお祝いを催し、栄誉を称え祝杯
を挙げ、皆で程よく酔います。

月1回の例会には作品を持ち寄り、和泉審
査会員を中心として忌憚のない意見の中、お
互いに切磋琢磨しています。小規模ながらも
写真展開催や各地での撮影会参加、又年1回
の撮影旅行など会員間の親睦を図り、楽しい
写真三昧です。

当支部でも毎月発行している「支部通信」が
ありますが、例会作品講評のまとめ、連絡事
項や写真コンテスト入賞作品掲載などの内容
で、現在280号を記録中です。

今後においても道写協及び他の支部のご指
導ご協力を仰ぎ、奈井江支部を益々盛会なる
ように努めますので、よろしくお願い申し上
げます。

第60回記念写真道展作品集 〈特集〉写真道展60年史

●30年の歴史を振り返って
●写真道展の軌跡
●第60回記念座談会
—北海道の写真文化の拠点に—

第60回記念写真道展の入賞・入選作品、審査会
員・会友作品等を掲載した「作品集」に合わせ、
第60回展を記念して「写真道展60年史」を特集
しました。支部会員の皆様にはぜひこの機会に
お買い求め下さい。

A4版 120ページ
頒布価格 3,000円

けです。

1部2席に選ばれた作品は、毎月行われて
いる支部の例会に出す写真がないことから、
比布町で行われている「泥んこだらけのバ
レーボール大会」に行くとか何か撮れるのでは
と思い、出かけて行って撮った時の一枚です。
プレイヤーの皆さんは明るく表情豊かで、快
く写真を撮らせて頂き感謝しています。

私は、家庭菜園も趣味の一つとしていま
すので、皆さんのように「熱心」に写真を撮る方
にはあたりませんが、今回の受賞はこれから
長く写真を撮り続けていくための「前褒美」と捉
え、写真も趣味の一つとして楽しみながら続
けていきたいと考えています。

**第60回記念写真道展入賞・入選作品展
写真道展審査会員・会友作品展
特別企画 — 歴代大臣賞作品展**

日時 5月14日(火)~5月19日(日)
午前10時~午後7時(最終日は午後5時まで)

会場 大通美術館(札幌市中央区大通西5)

本展では、公募作品展及び審査会員・会友作品展を合同開催するほか、特別企画として歴代の大賞を受賞した作品をパネル展示して写真道展の長い歴史の一端を紹介します。多くの支部会員、写真仲間、友人等誘いの上、ご観覧ください。

よろしく願います

道新文化事業社
福島 恵里



昨年11月より事務局担当になりました福
島恵里です。

第60回記念写真道展の審査会では数千点
にのぼる応募作品が一堂に並べられた光景に、
また肅々と進行する真剣な会場の空気に、そ
して審査を重ね選ばれた個性ある作品にた
ただ感動いたしました。

新しい世界に触れさせていただくことに感
謝し、北海道写真協会展と道新の読者となつ
たたく役割として、非力ではございますが努め
てまいります。どうぞよろしく願います。

事務局から

■支部会員名簿再提出のお願い

昨年末発行予定で進めていた「北海道写真
協会会員名簿・規約集」は、支部会員名簿集
約の遅れと、写真協会役員体制の変更を控
え、支部長会議(総会)終了後に発行する旨、
案内しております。

つきましては平成25年5月19日に開催の支
部長会議において、改めて支部会員名簿の提
出をお願い申し上げます。

※昨年提出された会員名簿と変更がない場
合は、その旨連絡をお願いします。

※支部長会議に出席出来ない支部については、
左記宛郵送願います。

〒047-0152
小樽市新光二丁目18番30号

本郷 正利